

【件名】	街路築造工事のうち擁壁築造工事（4西一青梅3・4・4裏宿町）	【事務所名】	西多摩建設事務所	
【工事場所】	東京都青梅市天ヶ瀬町地内から同市裏宿町地内まで	【受注者名】	若築・興栄建設共同企業体	
【工期】	令和4年12月16日から令和7年3月18日	【主たる技術者名】	監理技術者 宮田 正昭	

【工事概要】

本工事は、主要地方道新宿青梅線（第5号）新青梅街道の擁壁設置工事である。
 鋼管杭 中央セパレート部(φ800) 115本
 市道付替部(φ1500) 32本

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は急峻な地形において岩盤層に鋼管杭を圧入する工事である。作業ヤードが狭隘であり、住宅も近接するなど、困難な施工条件であったが、綿密な施工計画の立案を行い、無事故・苦情ゼロで工事を完遂した。杭の圧入時には想定より高い位置に岩盤層があり、圧入力を調整する等の施工に時間を要したが、溶接の班を増やすなどの工夫を行い、施工時間の短縮を図った。また、狭隘な作業ヤードにおいて重機との接触災害を防止するため、施工ヤード全域にわたって安全通路を明確にしたほか、後方カメラを搭載したバックホウを使用するなど工夫を行った。

工事中は、デジタルサイネージを活用し地域住民へ情報発信を行ったことや、本工事で使用したジャロパイラーの機械がテレビ放映されることにも積極的に協力し事業のPRに貢献した。また、ICTの活用や大雨時の冠水対策の排水管設置等を行う等の地元対策も熱心に行い、模範となる工事であった。

セパレート部着手前



セパレート部完成



付替市道部着手前



付替市道部完成



【受注者の声】

◇ 苦労した点

本工事は狭隘で高低差の大きい急傾斜のある地形で、市道を供用しながら施工する必要があり、資機材の配置に苦労しました。また、想定より高い位置で硬い岩盤層があり杭の圧入に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

大型土のうにより資機材仮置きヤードを整備したこと、岩盤層圧入にあたり、圧入力や冷却水量の調整などを行い先端ビットへの負荷を減らして圧入したことです。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

現場着手前は杉の木が密集する急傾斜地で、立ち入ることも出来ない状態でしたが、関係者の協力を得て、無事故で苦情もなく、しゅん工を迎えられたことが何よりのやりがいと達成感です。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

普段何気なく通っている道路は、実は多くの人の思いが込められ造られているものである。そんな思いを知ってもらえると、建設業の重要性とやりがいを広められると思います。



施工中の航空写真。市道を供用しつつ、狭いヤードに資機材の配置を工夫して工事を進めた。